

人 経 済

ひとりごと

石野 康弘氏

翔志(らーめん世界)社長

持論は「人は、自分のためでなく、誰かのためにこそ頑張れる」。「自分のためだと甘えが出る。人のために本気で頑張れば、絶対に道は開けるんですよ」。

その言葉の背景には、「人の倍、努力しろ」と話してくれた父、「あきらめなければ何でもできる」ことを教えてくれた高校のバレー部の監督、そしてバイト先のラーメン店の師匠(社長)との出会いがあった。

全財産2640万円

学生の際は教師になりましたが、何気なく始めたバイト先のラーメン店社長に教えを受けるうち、器の

◆翔志(白山市) 2001年設立。飲食店「らーめん世界」の運営。北陸3県に10店舗。資本金1000万円。08年10月期の売上高予想は9億5000万円。

大きさに衝撃を受けた。「体を張って本気でしかってくれる。男としてあこがれました」。教員免許を取っていたが、ラーメン修行の道を選ぶと親から勘当された。全財産は二千六百四十円。「いつか見とれ」と修行に明け暮れた。

四年後、社長から突然、「ここを出てもっと大きくなれ」と、札束を積まれた。「社長のための一心で独立は考えていなかったが、お前はおれの夢なんや」と言われ、独立の決意を固めた。不動産屋から「絶対に成功しない」とされた場所に第一号の西泉店を出すも、二年半は試行錯誤が続い

た。「でも、あきらめるまでは失敗とは思わんから」。寸暇を惜しんでの勉強と自

天下無敵の

負けず嫌い

称「単細胞で天下無敵の負けず嫌い」の性格が奏功してか、客も次第に増え、今や店数も十店に増えた。

絶対の自信

「師匠のようにはなれないけど」、今は社員の独立支援に力を入れている。来春までには初ののれん分け店が開業する予定だ。

今後、北陸で十七店舗体制を築いた後は関西に進出する。激戦区とされるが、手作りの味と追求心、そして心強い社員がいる限り、絶対に負けない自信がある。

厳しい言葉を掛けることもあるが、若手の従業員への期待は大きい



最近、習字にはまっているとか？ 昔に比べたら、結構上達しましたよ。何でも絶えず成長してないと不安なんです。

いしの・やすひろ 富山市出身。大阪学院大商学部卒。大阪市内のラーメン店で修行後、1996年独立。2001年に翔志設立と同時に社長。38歳。